

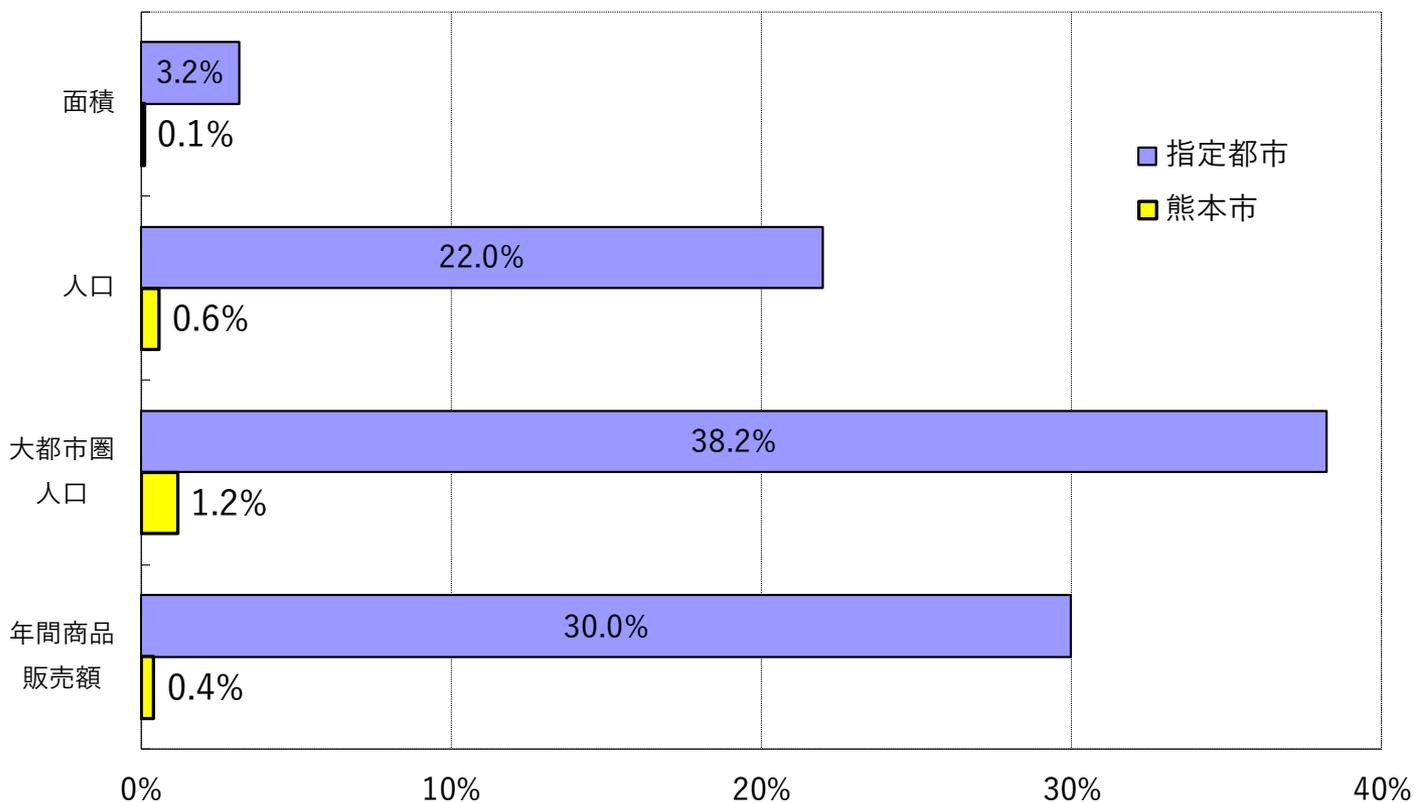
# 指定都市の特性と財政需要について

## ～熊本市との比較～

令和3年（2021年）12月16日  
財政局 財務部 財政課

# 1 大都市の特性 ①集積性・高次性・圏域における中枢性・日本経済牽引の役割(1)

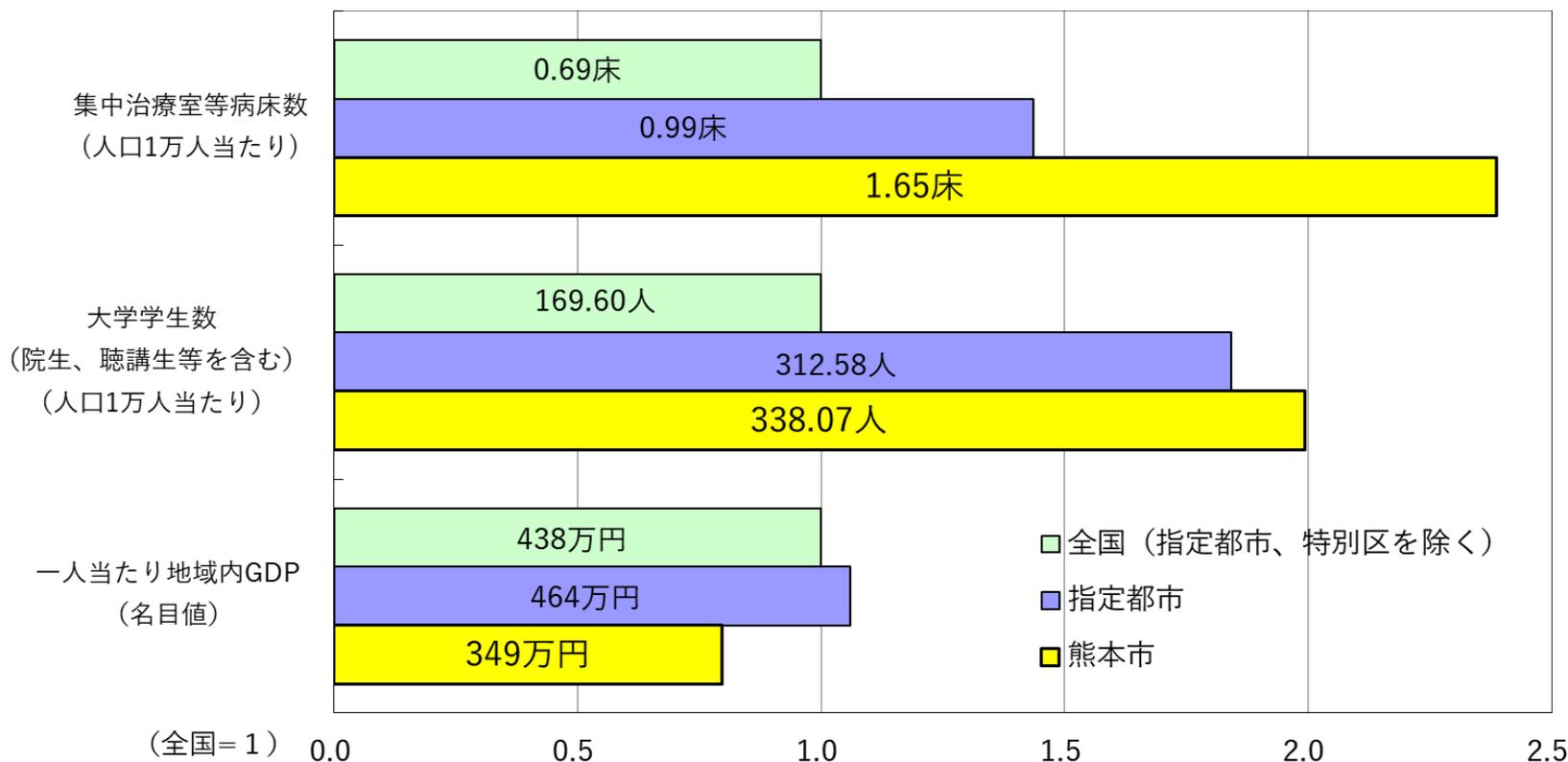
- 熊本市の面積は、国土面積の0.1%に留まるが、人口は0.6%、大都市圏人口（1.5%通勤圏人口）は、1.2%を占めている。
- 一方、年間商品販売額は、0.4%と人口規模に比して低い状況。



出典：国土地理院「令和2年全国都道府県市区町村別面積調」（令和2年10月時点）、総務省「令和2年国勢調査」人口速報（令和2年10月時点）等  
総務省「平成27年国勢調査 我が国人口・世帯の概観」（平成27年10月時点）、経済産業省「平成28年経済センサスー活動調査」（平成28年6月時点）

# 1 大都市の特性 ①集積性・高次性・圏域における中枢性・日本経済牽引の役割(2)

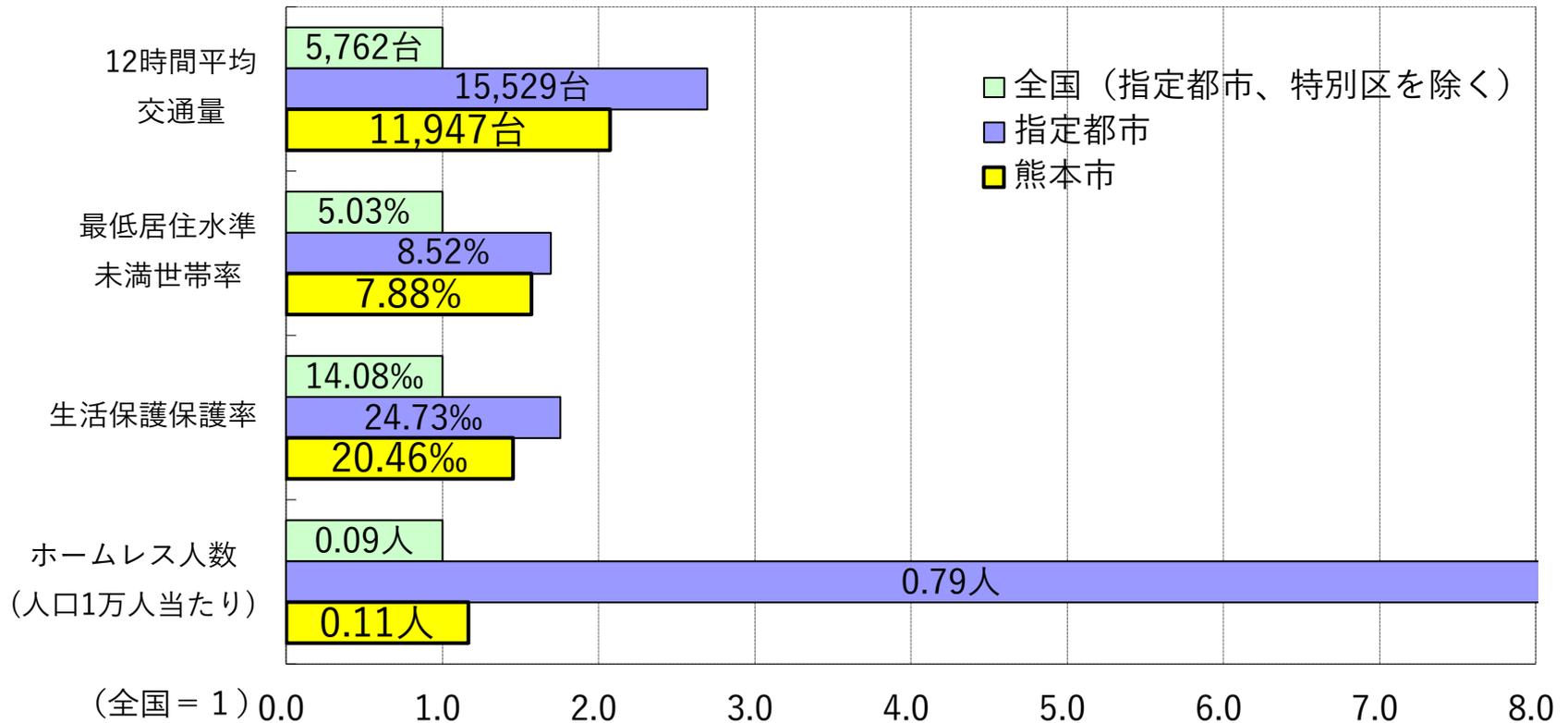
- 集中治療室等病床数、大学学生数は、20指定都市中、それぞれ4番目、7番目となっており、全国平均、指定都市平均を上回っている。
- 地域内GDPは、内閣府が公表している16指定都市と比較すると2番目に低く、全国平均、指定都市平均を下回っている。



出典：厚生労働省「平成17年医療施設調査」（平成17年10月時点）、文部科学省「令和2年学校基本調査」（令和2年5月時点）  
内閣府「平成29年度 県民経済計算」大都市比較統計年表（令和元年）※相模原市、静岡市、堺市、熊本市除く。  
熊本県「平成30年度 市町村民経済計算」（表7 長期時系列：市町村内総生産）

# 1 大都市の特性 ②過密・集中による都市的課題

- いずれの指標も、全国平均を上回り、指定都市平均を下回っている。
- 12時間平均交通量は、20指定都市中13番目、最低居住水準未済世帯率と生活保護受給率はそれぞれ9番目と中位に位置する一方、ホームレス人数は最も少ない。

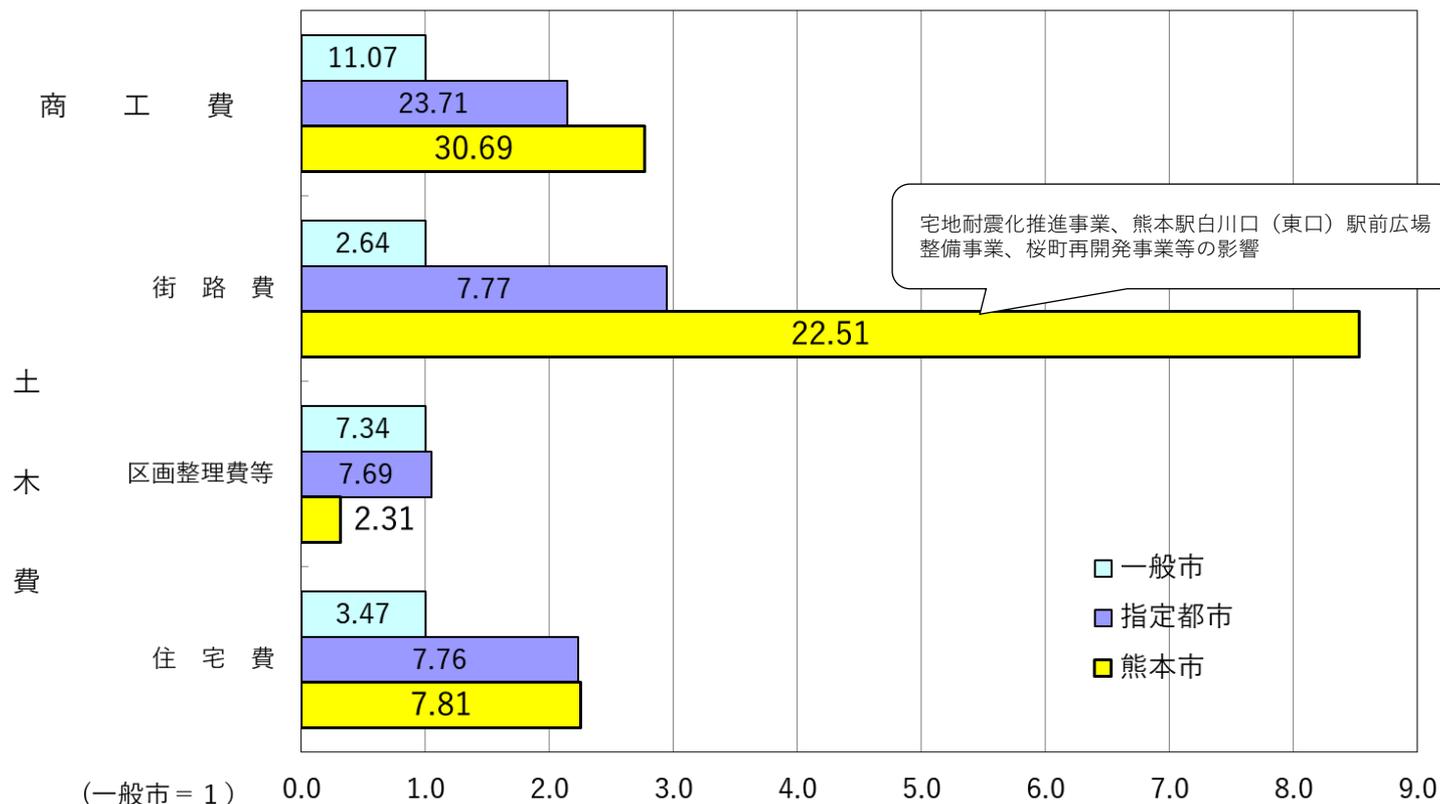


出典：国土交通省「全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査」（平成27年秋季）、総務省統計局「平成30年住宅・土地統計調査」（平成30年10月時点）  
厚生労働省「厚生労働統計一覧 2019年度被保護者調査」（令和元年度）、「ホームレスの実態に関する全国調査（概数調査）結果」（令和3年1月時点）

## 2 大都市特有の財政需要 ①法人需要・インフラ需要(企業活動支援、道路、住宅の整備等)

- 区画整理費等を除き、一般市平均を大きく上回っている。
- 特に街路費は、宅地耐震化推進事業、熊本駅白川口（東口）駅前広場整備事業、桜町地区再開発事業等の影響により、20指定都市中4番目に大きくなっている（令和元年度）。

【人口一人あたり歳出額 千円】



出典：総務省「令和元年度 市町村別決算状況調」（令和元年度決算）

## 2 大都市特有の財政需要 ②都市的課題から発生する需要(障害者福祉費や保育所関係経費)

- 社会福祉費、小学校費、中学校費は、指定都市平均と同程度（20市中、16、17、17番目）。
- 生活保護費は、指定都市平均を下回っている。（20市中15番目）
- 特別支援学校費は、16指定都市（4都市は未設置）中13番目。

【人口一人あたり歳出額 千円】

